

## 2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

### 評価実施体制

内部／ 外部	評価担当分野	氏名（非公開）	団体・役職
内部	事業全体(インタビュー、報告書作成)		代表取締役

### A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

#### ① 短期アウトカムの進捗状況

指標	目標値・状態	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・ 改善状況
障がい者施設施設の利用者や引きこもりの方が、施設外就労の場で利用者さんと幅広い年齢層の地域住民との交流の場を持っている状態。	1. 5名が就労している。 2. 月に4回以上交流の場が設けられている状態。	2023 年 2 月	桜ヶ池キャンプ場の管理を2021年7月取得し、薪づくりの環境を整備し、キャンプやバーベキューができる準備を進めている。4月現在で就労者は2名。
施設外就労の利用者の年間を通して各月の収入の振りが20%以内になる。事業開始年度の平均月収が事業終了時に20%以上上がっている。冬でも安定的に安全に仕事ができる環境づくりをする。	1. 各月の収入の振りが20%以内 2. 平均月収が事業終了時、開始年度の20%増	2023 年 2 月	2021年12月より、薪の原木を安価に継続的に購入する環境が整った。薪製造の機械を整備し、作業を開始したが、2021年12月下旬から3月まで大雪のため作業が中断していた。収入の振りが平均月収は今後の課題である。

<p>南砺市の農家に炭化チップが販売できて炭素循環型農法が普及している状態。10農家以上に炭化チップを販売している状態。</p>	<p>1. 5名以上が就労している。 2. 農家以上に炭化チップを販売している状態。</p>	<p>2023年 2月</p>	<p>2021年10月城端果樹組合と柿の剪定枝の炭素化に関する話し合いを行った。2022年2月、組合員と地元住民立会いのもと柿の剪定枝の炭素化実験を行った。しかし、目標の炭素化循環モデルへの目途は立っていない。</p>
--	--	---------------------	---



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</li> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</li> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</li> <li><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</li> <li><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</li> </ul> <p>と自己評価する</p>	<p>桜ヶ池キャンプ場の指定管理取得が2021年7月になったため事業開始が4か月程度遅れた。薪製造の機械を整備し、12月より薪の原木を安価に継続的に購入する環境が整った。施設外就労利用者1名で作業を開始したが、12月下旬から2022年3月初旬まで大雪のため作業が中断した。このため収入の振り幅や平均月収の改善は今後の課題である。</p> <p>利用者や地域住民との交流の場づくりへ、キャンプやバーベキューができる準備を進め、2022年5月には環境が整う予定である。薪づくりだけでなく、キャンプ場の清掃の仕事も含め利用者と地域住民（高齢者も含め）のふれあいの場づくりを進める。</p> <p>2021年10月城端果樹組合と柿の剪定枝の炭素化に関する話し合いを行い、2022年2月、組合員等と柿の剪定枝の炭素化実験を行ったが、炭素化の道具も含め目標の炭素化循環モデルへの目途は立っていない。</p>

## B) 事業の改善状況の評価

### ① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	1. 活動は計画通り実施されているか 2. 事業を達成するうえで支障となる問題は起きていないか、その要因は何か 3. 今後留意していかなければならない事は何か 4. 設定された目標に対し、当初課題として設定された事項の解消に向けた活動の進捗は明確か	桜ヶ池の指定管理取得が7月と遅れ、冬季間の大雪で事業進捗は遅れた。柿の剪定枝の炭素化循環モデルは機具選定や運営体制も含め課題がある。 事業後半でこれらの課題解決は必要である。	スタートから全体的に遅れているが、薪作りに関しては整っている。 またコミュニティースペースを利用した地域との交流もあと少しで実行できるところまで来ており実行の計画も進んでいる。
実施をとおした活動の改善、知見の共有	1. アウトプット発生に影響を与えた阻害因子、貢献因子は何か 2. 事業の進捗や3地域での連携により、知見の共有や活動の改善が行われているか 3. 今後留意していなければならない事は何か	阻害因子は指定管理の遅れと大雪であり、貢献因子は実行団体マーシ園との連携と資金分配団体の支援である。 東近江市実行団体のTeamNorishiroを視察し、具体的改善に繋がった。	活動の中でマーシ園や東近江等他団体との交流は非常に刺激を受け、事業を加速することにも繋がるので今後もっと積極的に他団体との交流を進めたい。 また、改善点として自社だけでなく行政や関係会社等の動向により事業の進捗や実行の可否が決まるので事前の下調べ等も入念にすべきであった。

<p>組織基盤強化・ 環境整備</p>	<p>1. 事業の運営管理体制に問題はないか 2. 組織の財務状況、財務体質に変化は生まれているか 3. 地域内で新たに構築された人や団体との協力、連携関係はあるのか</p>	<p>事業運営管理体制は明確であり問題ないが、桜ヶ池キャンプ場のコテージ改修の財源に苦慮している。地域内の1年間の活動で人や団体との協力、連携関係は徐々に醸成されている。</p>	<p>会社規模に対して施設の修繕規模が大きく苦戦はしているがミニマムスタートで収益化に繋げる必要がある。それに向けてコテージ・管理棟の整備、サウナの新設等の実施をした。また薪の販売収益化に向けて HP の作成、ブランディング戦略を実施している。</p>
-------------------------	---	---	--

## ② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

事業実施が南砺市からの指定管理受託が 2021 年 7 月になったため、事業全体の進捗が遅れ気味になった。薪の製造機搬入や 12 月に薪原木の良好な購入契約（トンあたり 3000 円安い 9000 円で、安定的に搬入を資金分配団体が仲介し成立）が成され、施設外就労利用者 1 名が就労開始した。しかし、12 月下旬からの大雪で 3 月初旬まで十分な就労に繋がらなかった。2022 年 4 月から施設からの紹介で利用者 1 名が新たに参加し、2 名で本格的な薪づくりが再開される。

利用者や地域住民との交流の場づくりとして、2021 年 7 月から桜ヶ池キャンプ場のリニューアル工事を行っている。5 月にはオープン予定である。薪づくりや柿の剪定枝の炭素化だけでなく、キャンプ場の清掃なども含め利用者や地域の高齢者が就労や役割発揮できる環境の整備に努める。

柿の剪定枝の炭素化を通し炭素循環型農法を普及させ、事業期間中に 10 農家以上に炭化チップを販売している状態を目指しているが、炭素化機具の能力不足や柿剪定枝の湿気のためか、2022 年 2 月に行った炭素化実験は十分な成果が得られなかった。南砺市の特産物である干し柿農家からでる大量の剪定枝を、産業廃棄物から炭素化し農地の堆肥として有効利用する循環型農法の確立は今回の事業の大きな目標である。年 1 回の機会を逃した状態であるが、2023 年 2～3 月の前に改善に向けて事業計画の見直しと新たな取組が必要となった。

### ③ 事前評価時には想定していなかった成果

薪づくりの材料に関して、資金分配団体との繋がりの中から、安価で良質な原木購入が安定的に購入できる契約が成立し、利用者の賃金改善や通年的就労環境整備に繋がった。桜ヶ池キャンプ場の再整備でキャンプ利用者の増加が期待でき、それに伴う清掃業務や関連就業が期待できる状態となった。柿の剪定枝の炭素化循環事業が予定より遅れている分、薪づくり事業とキャンプ場事業で当初の利用者就労と地域住民との交流環境整備が期待できる状況となった。2020年度の南砺市における休眠預金活用事業として、引きこもりや精神障害の方を対象とする実行団体が当団体とマーシ園グループが同時に活動を開始し、相互に役割を補完し協力する関係が得られた。障がい者の施設外就労や引きこもり者の紹介等に効果をあげている。



### ④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている</p> <p>と自己評価する</p>	<p>事業実施場所が南砺市の山際で冬場積雪が多く、通年を通し薪づくりが行える環境整備が必要であり、薪原木の搬入場所や作業現場の工夫を行う。</p> <p>桜ヶ池キャンプ場リニューアル工事を通し、利用者や地域高齢者等が定期的に交流できる場をつくり、キャンプ場運営に必要な清掃業務に共に携わったり、バーベキュー等のイベントを通し定期的に集える環境整備を今後地域づくり協議会等と協力して構築する。</p> <p>柿の剪定枝の炭素化と循環モデルの確立には、事業遂行を担う企業（北酸株式会社等）の協力が必要である。実行団体と柿農家や地域住民との連携や協力体制の整備と共に、事業の後半は本事業終了後の実用化が担保される状態を目指す。</p>

添付資料

- 1.中間評価実施前の事業計画
- 2.評価計画書